

なら歯と口腔の健康づくり計画 の中間評価の概要について

1.ライフステージごとの取組 (1)乳幼児期(0～6歳)・妊婦

施策の実施状況

1 県が実施

- ・ 乳幼児の歯科口腔保健指導充実を目的とした市町村担当職員に対する研修は、保健所が実施の他、県歯科医師会においても実施
- ・ 科学的根拠に基づくむし歯予防の推進として、フッ化物洗口推進事業を実施
- ・ 妊婦の歯科口腔保健指導の充実のため、歯科衛生士産科医療機関派遣モデル事業を実施

2 県以外が実施

- ・ 各市町村が、保護者に対する知識の普及啓発を実施
- ・ 乳幼児の歯科口腔保健指導充実を目的とした市町村担当職員に対する研修は、保健所が実施の他、県歯科医師会においても実施(再掲)

3 未着手

該当なし

指標の進捗状況

設定4指標のうち A評価3指標(75.0%)、B評価1指標(25.0%)で、指標は改善傾向

1 既にH34目標値を上回るペースで推移

- ・ むし歯(う蝕)の無い3歳児の割合が80%以上である市町村数
- ・ 妊婦に対する歯科口腔保健指導等を実施する市町村数

2 H34目標値達成ペースで推移

該当なし

3 改善するもH34目標値に届かないペースで推移

- ・ むし歯(う蝕)の無い3歳児の割合

4 その他

- ・ 不正咬合等が認められる3歳児の割合は、増減変動しながら横ばいで推移

1.ライフステージごとの取組 (2) 少年期(7~18歳)

施策の実施状況

1 県が実施

- ・ 一時保護児童を対象とした普及啓発として、う蝕ハイリスク児歯科保健指導モデル事業を実施
- ・ 健康づくり推進費補助金を活用した普及啓発(例: 歯を守る図画・ポスター・標語コンクール)を実施
- ・ 学校における歯科口腔保健指導の充実のため、教職員や市町村職員を対象として歯科口腔保健推進講習会を実施

2 県以外が実施

- ・ 各学校が、児童生徒及び保護者に対する知識の普及啓発及び学校における歯科口腔保健指導を実施
- ・ 健康づくり推進費補助金を活用した普及啓発(例: 歯を守る図画・ポスター・標語コンクール)を実施(再掲)

3 未着手

該当なし

指標の進捗状況

設定5指標のうち A評価4指標(80.0%)、D評価1指標(20.0%)で、指標は改善傾向

1 既にH34目標値を上回るペースで推移

- ・ むし歯(う蝕)の無い12歳児の割合
- ・ 12歳児の平均むし歯(う蝕)本数が1本未満である市町村数

2 H34目標値達成ペースで推移

- ・ 中学校での歯科口腔保健に関する集団指導の実施状況を把握している市町村数

3 改善するもH34目標値に届かないペースで推移

- ・ 小学校での歯科口腔保健に関する集団指導の実施状況を把握している市町村数

4 その他

- ・ 12歳児で歯肉に炎症所見がある人の割合は、約17%で減少傾向

1. ライフステージごとの取組 (3) 青年期(19～39歳)・壮年期(40～64歳)

施策の実施状況

1 県が実施

- ・健康づくり推進費補助金を活用した普及啓発(例:なら歯と口腔の健康づくりフェスティバル)を実施
- ・多様なメディアを活用した普及啓発として、県民だより「なら養生訓」に歯科口腔保健に関する記事を掲載
- ・職場等における歯科口腔保健指導の実施促進のため、事業所等口腔保健出前説明会を実施
- ・市町村における取組の推進のため、歯科口腔保健推進講習会及び糖尿病等起因歯周病対策事業を実施

2 県以外が実施

- ・健康づくり推進費補助金を活用した普及啓発(例:なら歯と口腔の健康づくりフェスティバル)を実施(再掲)

3 未着手

- ・料理レシピを活用した普及啓発は、現時点で未着手

指標の進捗状況

設定11指標のうち A評価5指標(45.5%)、B評価1指標(9.1%)、C評価5指標(45.5%)で、指標は改善していない

1 既にH34目標値を上回るペースで推移

該当なし

2 H34目標値達成ペースで推移

- ・歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合(20歳以上)【女性】
- ・20歳代で歯肉に炎症所見がある人の割合
- ・60歳で24本以上の自分の歯がある人の割合

3 改善するもH34目標値に届かないペースで推移

- ・歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合(20歳以上)【男性】
- ・40歳で未処置の歯を有する人の割合

4 その他

- ・40歳で28本以上の自分の歯がある人の割合は、80%強の横ばいで推移
- ・40歳で進行した歯周炎を有する人の割合は、微増傾向で推移しており、目標達成困難
- ・60歳で進行した歯周炎を有する人の割合は、増加傾向で推移しており、目標達成困難
- ・60歳で未処置の歯を有する人の割合は、微増傾向で推移しており、目標達成困難
- ・60歳代で咀嚼が良好な人の割合は、80%強の横ばいで推移
- ・時間をかけてよく噛んで(20～30回)食べる人の割合は、20%前後の横ばいで推移しており、H28目標値は未達成

1.ライフステージごとの取組 (4) 高齢期(65歳以上)

施策の実施状況

1 県が実施

- ・ 健康づくり推進費補助金を活用した普及啓発(例:高齢者いい歯のコンクール)を実施
- ・ 多様なメディアを活用した普及啓発として、県民だより「なら養生訓」に歯科口腔保健に関する記事を掲載(再掲)
- ・ 市町村が介護予防事業等を実施できるよう、検討会を開催

2 県以外が実施

- ・ 健康づくり推進費補助金を活用した普及啓発(例:高齢者いい歯のコンクール)を実施(再掲)
- ・ 県健康長寿共同事業実行委員会が、高齢者の健康維持・増進のため、地域巡回指導・普及啓発事業として、取組方策の検討及び地域における指導等を実施

3 未着手

- ・ 料理レシピを活用した普及啓発は、現時点で未着手(再掲)

指標の進捗状況

設定4指標のうち A評価4指標(100.0%)で、指標は改善傾向

1 既にH34目標値を上回るペースで推移

- ・ 1日2回以上歯みがきを行い、毎年歯科医師によるチェックを受けている人の割合(65歳以上)

2 H34目標値達成ペースで推移

- ・ 歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合(20歳以上)【女性】(再掲)

3 改善するもH34目標値に届かないペースで推移

- ・ 80歳で20本以上の自分の歯がある人の割合
- ・ 歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合(20歳以上)【男性】(再掲)

4 その他

該当なし

2.定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な人への対応

(1)障害のある人

施策の実施状況

1 県が実施

- ・ 障害者支援施設及び障害児入所施設の職員を対象に、口腔ケア等知識普及を目的とした研修会を実施
- ・ 心身障害者歯科衛生診療所を運営
- ・ 地域における障害のある人の歯科保健医療の推進のため、心身障害者歯科衛生診療所の設備を整備
- ・ 地域における在宅歯科医療推進のため、窓口(在宅歯科医療連携室)を設置

2 県以外が実施

該当なし

3 未着手

- ・ 障害のある人やその家族、介助者を対象とした知識普及の取組は未着手

指標の進捗状況

設定1指標のうち A評価1指標(100.0%)で、指標は改善傾向

- ・ 障害者支援施設及び障害児入所施設での定期的な歯科検診の実施割合

(2)介護が必要な高齢者

施策の実施状況

1 県が実施

- ・ 市町村の取組推進のため、市町村との検討会を実施
- ・ 高齢者入所施設の職員を対象に、口腔ケア等知識普及を目的とした研修会を実施
- ・ 地域における在宅歯科医療推進のため、窓口(在宅歯科医療連携室)を設置

2 県以外が実施

3 未着手

該当なし

指標の進捗状況

設定1指標のうち B評価1指標(100.0%)で、指標は改善していない

- ・ 介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科検診の実施割合

3.社会環境の整備

施策の実施状況

1 県が実施

- ・ 訪問歯科診療車を整備して、歯科医師や歯科衛生士の確保困難な地域での人的支援の基盤整備を実施
- ・ 人材確保のため、歯科医師・歯科衛生士を対象に訪問歯科診療、認知症、障害者歯科治療に関する研修を実施
- ・ 歯科検診の標準化を図るため、奈良県歯科検診ガイドラインを策定
- ・ 多職種連携の促進のため、ケアマネジャー、介護関係職種と歯科医師・歯科衛生士等の専門職による情報交換会を開催
- ・ 県ホームページ「なら医療情報ネット」で地域の歯科医療機関に関する情報を公開
- ・ 保健所が市町村単位で市町村及び地区歯科医師会と検討を行い、市町村の取組の向上を推進
- ・ がん患者に対する口腔ケア対策のため、医科歯科連携推進の取組を実施

2 県以外が実施

- ・ 県歯科医師会が、歯科衛生士の復職支援を実施
- ・ 県歯科衛生士会及び県健康長寿共同事業実行委員会が、歯科口腔保健普及啓発ツールを開発

3 未着手

- ・ 各地の優良事例、先進的な取組についての情報発信は未着手

指標の進捗状況

設定4指標のうち A評価4指標(100.0%)で、指標は改善傾向(再掲)

1 既にH34目標値を上回るペースで推移

- ・ むし歯(う蝕)の無い3歳児の割合が80%以上である市町村数(再掲)
- ・ 12歳児の平均むし歯(う蝕)本数が1本未満である市町村数(再掲)

2 H34目標値達成ペースで推移

- ・ 歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合(20歳以上)【女性】(再掲)

3 改善するもH34目標値に届かないペースで推移

- ・ 歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合(20歳以上)【男性】(再掲)

4 その他

該当なし